

特別展「田辺聖子が描いた生きるチカラ」

田辺聖子文学館では、全国文学館協議会共同展「文学と天災地変」に参加し、特別展『田辺聖子が描いた生きるチカラ』を開催します。

共同展は東日本大震災発生2年目を迎える今年、全国の文学館30館あまりが時期とテーマを合わせて災害にまつわる展示を各地の文学館で行います。

当館の特別展では、数多い田辺聖子の災害関連の著作から1976年兵庫県一宮町（現 兵庫県宍粟市一宮町）で起こった「一宮山津波」（いちのみや やまつなみ）と1995年の「阪神・淡路大震災」を取り上げました。

田辺聖子が第二の故郷と呼ぶ一宮町を襲った山津波と田辺自身が被災者になった阪神・淡路大震災。田辺は悲惨さ怖さをリアルに伝えながら、災害を越えて生きる人間の強さとやさしさを文学で表現しています。

展示には実際の災害写真に田辺のエッセイや小説のフレーズを並べて解説しました。また災害の概要や関連著作等を案内したパンフレットもあり、見て読んで災害と田辺文学が体験できるよう構成しています。

【会期】2013（平成25）年3月1日～4月13日

【写真提供】 「一宮山津波」 兵庫県宍粟市一宮町下三方連合自治会
「阪神・淡路大震災」 神戸新聞社／協力 神戸文学館

【展示の田辺作品】

「一宮山津波」 恋愛小説『どんぐりのリボン』（1984年初出誌 講談社文庫）

「阪神・淡路大震災」 講演録とエッセイ『ナンギやけれど……わたしの震災記』（集英社文庫）



阪神・淡路大震災



兵庫県 一宮山津波

【主な展示品】

- ・ 阪神・淡路大震災ニュース写真 — 伊丹駅倒壊・神戸市東灘区阪神高速道路倒壊・給水車に並ぶひとたち、避難所の炊き出し 救援物資の配布等
- ・ 「田辺聖子さん阪神大震災チャリティー講演会『ナンギやけれど……』」案内チラシ
- ・ 自筆メッセージ複写
- ・ 「一宮 山津波」記録写真 ——— 山津波現場・山津波報道新聞（神戸新聞）・山津波で埋もれた小学校・2年後復興された現場
- ・ 「山津波証言集」一宮町発行